



Graduate School of

Commerce

商学研究科

激動する現代社会における 商学のパイオニアを目指す

商学研究科は、伝統ある明治大学商学部の教育を基礎として、一層の高度な知識と幅広い教養を身に付け、広く世界を見渡し、人類の進歩に貢献することの出来る人材を育成するための教育・研究機関です。

商学研究科は、商学部の7コースを専門分野別に細分化した、経済、商業、経営、会計、金融・証券、保険、交通及び貿易の8つの特色ある系列で構成されており、約50名の教育・研究スタッフによる大学院生の研究指導が行われています。

現在、日本の社会と大学教育は、大きな岐路に立ち、大学院の持つ意義はますます高まっています。商学研究科は、開かれた大学院であり、海外からの留学生の受け入れ、また協定校留学制度による国際交流や、社会人の受け入れにも積極的に対応しており、本学商学研究科を単立した多くの研究者が国内外の研究・教育機関で活躍しています。

商学研究科では、入学を希望する学内外の志願者に対する一般入学試験の他、留学生や卒業生に対する特別な入学試験を実施しています。また本学学部在籍者には、学内選考や3年早期卒業予定者入学試験にて商学研究科への進学機会を設けています。

大学院事務室（グローバルフロント5F）

※事務取扱時間（開室時間）はHPで確認してください。

電話●03-3296-4704 Mail●shoken@mics.meiji.ac.jp

※休業期間やイベント等により開室時間に変更となる場合があります。



商学研究科Webページ

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/index.html



入学者の受入方針

（アドミッション・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/policy/graduate_ap.html



教育課程編成・実施方針

（カリキュラム・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/policy/graduate_cp.html



学位授与方針

（ディプロマ・ポリシー）

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/policy/graduate_dp.html

●● 人材養成その他の教育研究上の目的

商学研究科

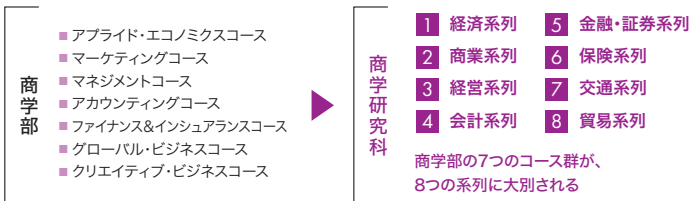
商学研究科は、我が国における「商学のパイオニア」としての長き伝統を持つ商学部の教育を基礎に、商学の各分野における、より高度な専門的知識を教授することにより、将来第一線の研究者及び高度専門職業人の育成を図ることを目的とする。博士前期課程では、幅広く高度な商学関連知識を教授することにより優れた問題解決能力及び研究能力の基礎を修得させ、自立して活動できる高度専門職業人と基礎的研究能力を習得した研究者の養成を目的とし、博士後期課程では、グローバルな視野に立脚し最先端の高度な専門的知識を教授することによって、革新的な知識の創造力を持った研究者の養成を目的とする。

商学専攻

商学専攻では、商学研究科の目的の下、「商(Commerce)」にかかわる現象及び活動を多面的・多角的に攻究する。専攻には、経済、商業、経営、会計、金融・証券、保険、交通及び貿易の8つの系列を設置し、各系列では、少人数教育を基本とし、学問の進展を考慮して基礎から最先端までの知識と分析手法を効果的に修得できるようになることを目的とする。

●● 専攻

商学専攻においては、専攻を経済、商業、経営、会計、金融・証券、保険、交通、貿易の8つの系列に大別し、それぞれの領域において優れた研究実績を有する教員を配置の上、研究指導にあたります。



●● カリキュラム

商学研究科Webページから、最新のカリキュラム一覧をご確認いただけます。



カリキュラム 博士前期課程

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/curriculum/h_first.html



カリキュラム 博士後期課程

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/commerce/curriculum/h_latter.html

●● 2025年度 修士論文テーマ [抜粋]

- ▶ 軍事支出の決定要因
 - 同盟と分配構造の実証分析—
- ▶ 大学進学行動の地域差と性別差
 - コーホート比較による分析—
- ▶ 基軸通貨米ドルの成立と現状および展望に関する考察
 - デジタル通貨は米ドルを侵食するか—
- ▶ 知覚温度が消費者ブランド・リレーションシップに及ぼす影響
 - 心理的距離と処理流暢性としてのメカニズム—
- ▶ 受取サービス導入がコンビニエンスストアの顧客評価に与える影響
 - サービス品質の観点からみた消費行動への示唆—
- ▶ お茶飲料に関する消費者行動の研究
 - 健康意識、健康知識、および健康行動の関係を対象として—
- ▶ 設備投資による改善効果測定
 - 充電スタンド企業における事例を通じて—
- ▶ 監査役等による「攻めのコーポレートガバナンス」と「企業価値」との考察
- ▶ サハラ以南アフリカにおけるICT導入の「光と影」
 - 技術的可能性を成果へと導く制度的基盤の分析—
- ▶ SNSにおける社会的比較と衝動購買の関係性

●● 近年の博士学位授与 [抜粋]

課程博士

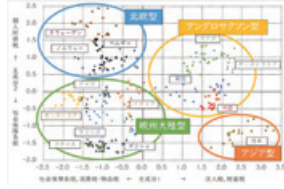
学位の種類	論文タイトル	授与年度
博士(商学)	アメリカレボ市場の構造変化と金融不安定性	2024年度
博士(商学)	新興国主導の多国間主義に関する研究	2024年度
博士(商学)	サービス・マーケティングにおける顧客エンゲージメントおよびその価値共破壊に対する影響	2024年度
博士(商学)	現代ドイツにおける「自己持分会社制度の構造」の研究	2024年度
博士(商学)	サービス・マーケティングにおけるブランド・コミュニティとスポーツ・ツーリズムに関する研究	2024年度
博士(商学)	日本の系列企業群における管理と支援によるガバナンス分析モデルの研究	2024年度
博士(商学)	消費者の情報取得および品質評価におけるeWOM研究	2025年度
博士(商学)	新興国企業の戦略的進化 —EV企業による競争行動を中心に—	2025年度
博士(商学)	イギリスにおける軍産複合体の形成とその崩壊 —1945年から1968年まで—	2025年度
博士(商学)	国際ビジネス交渉における中国人ビジネスパーソンのリクエスト表現に関する研究	2025年度
博士(商学)	日本のキャッシュレス化に対する一考察 —実証研究の結果からの示唆—	2025年度
博士(商学)	19-20世紀国際情報通信産業の形成・発展に関する史的分析 —商業史・経済史的視角より—	2025年度

研究テーマ紹介

1 経済系列

国別データの統計的分析による財政構造の国際比較

各国の財政構造（租税や政府支出の構成）は多様ですが、先進諸国については①アジア型、②アングロサクソン型、③北欧型、④欧州大陸型に分類できることが分かってきました。財政構造が異なれば、同じ政策の効果に違いが生じるかもしれません。例えば、少子化は先進諸国に共通の課題ですが、財政構造によって有効な対策が異なるかもしれません。この研究では、財政構造の分析を通じて役立つ政策を見定めることを目指しています。



畑農鋭矢・河合芳樹(2024)「租税構造・歳入構造の国際比較」『財政研究』20巻, p.121図1.

2 商業系列

取引現象を解明するマーケティング研究

商業系列では、取引現象を社会的・経済的に捉えるマクロ研究と、企業経営的な立場で捉えるミクロ研究があります。マクロ研究は売り手と買い手の間にある経済的懸隔（人的懸隔、時間的懸隔など）を埋めて消費者効用を発生させる流通の仕組みについて研究を行います。一方でミクロ研究は顧客満足と企業成果を達成するマーケティング戦略についての研究をします。また有形財に加えてサービスについてのマーケティングの研究も行います。



5 金融・証券系列

公正で効率的な金融・証券市場の形成は国民経済の発展に寄与する

金融・証券市場には企業や政府などの証券の発行体へ資金を供給する重要な役割があります。そこで活躍する投資家や金融機関の行動は市場の効率性に影響を与えるだけでなく、企業にも大きな影響を与えます。金融・証券系列では公正で効率的な資金循環プロセス、そして経済成長に貢献するために、金融・証券市場、投資家や金融機関の行動、金融取引の在り方、発行体の資金調達に関する研究を進めています。



6 保険系列

ビッグデータ・アンケート調査・実験からの保険へのアプローチ

近年、保険分野においては、走行データなどのビッグデータ、企業へのアンケート調査、実験から得られたデータに基づいてエビデンスを提供する研究が盛んになってきました。保険系列は3人の専任教員で構成されていて、それぞれ、「家計（意思決定分析の基礎と保険論への応用、医療保険、金融教育）」、「企業（企業と保険）」、「保険会社（保険会社の企業倫理と消費者保護）」の観点から研究を行っています。



走行データの解析により、リスク細分型自動車保険が開発されています。

3 経営系列

現代的かつ多様な学術的視点から企業経営の本質に迫る

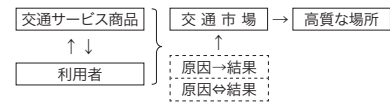
経営系列では企業経営に関する多角的・学際的な研究が最先端の手法を用いて展開されています。データ解析や機械学習、数理モデリング、技術哲学などの最新の知見と方法論を取り入れ、また定量的・定性的手法を活用して、組織、戦略、経営管理、生産管理、情報管理、人的資源管理、企業倫理、企業統治、経営情報システムなどの多様な側面から企業が直面する課題や事象が分析され、世界トップレベルの研究成果が産み出されています。



7 交通系列

高質な場所の実現に向けた交通からのアプローチ

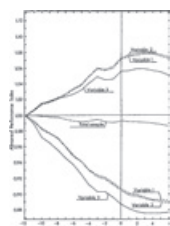
観光、都市交通、物的流通などの多様な分野における「人や物の移動」を、商品化された交通サービスの生産・消費過程と認識し、交通サービス商品と高質な場所との関係を交通市場の視点から研究しています。原因から結果を演繹的に導くアプローチ、または原因と結果の相互作用から結論を導くアプローチを交通市場の解明に適用しながら、高質な場所の実現に寄与する交通サービス商品の在り方を自由、平等、強制を基礎に考察します。



4 会計系列

会計基準に関する理論研究と実証分析

以前から、会計研究では、理論がどのように基準や法制度を説明するかについて力が置かれてきました。その後、海外を中心に、果たして、会計基準が投資家の意思決定に役立つのかという問題提起がなされ、現在は、日本でも、様々な観点から実証分析が行われています。特に、国際財務報告基準(IFRS)が本当に会計数値の読み手の意思決定に役立つのかという点について、実証分析により確かめることは重要です。



会計情報の有用性を検証しようとする研究も、数多く行われてきました(図はBall & Brown(1968)より)

8 貿易系列

現代の複雑なグローバル経済問題を深く理解する

貿易が国際経済にどのような影響を与えるか、どのように貿易のルールや政策が形成されるのかを体系的に理解します。さらに貿易は環境問題、不平等、貿易摩擦、国際移民、サプライチェーンのリスクなど、現代の課題と密接に関連しています。これらの課題を理論的に分析し、実務的な解決策を考案します。多くの国の経済状況や政策、歴史、文化的背景を理解し、国際的な視野を広げます。



入国審査待ちのハイチ人・南米移民で溢れかえるメキシコ国境州移民局前の公園

院生からのメッセージ



温 景裕

WEN Chingyu
商学専攻
博士前期課程 2年

専門知識を高め、学問的キャリア形成に専念できる研究環境

学部では統計学と保険分野を学び、大学院で研究したく、同分野の進学先を探しましたが、保険に特化した大学院は少数でした。そのとき、本研究科の8系列の存在を知り、筆記試験も専門の1系列のみで受験できたため、迷わずに本学を第一志望にしました。

入学してからは、保険系列の先生方から研究の基盤となる知識を教わり、自分の関心のある分野を追究できています。さらに、駿河台キャンパスの周辺には保険会社や研究機関が多くあることも、研究にとって大きな利点と感じています。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事している教員は？ A 中林 真理子 教授

中林研究室では、基盤となる理論はもちろん、世界の動向や社会変化が保険・リスク管理に与える影響について、少人数で深く学ぶことができます。また研究では自分の関心があるテーマに沿って議論を重ね、論文の方向性についての確かなアドバイスをいただけるほか、生活面や就職活動の悩みも気軽に相談できる、非常に恵まれた環境です。

教員情報 P.42



鈴木 健也

SUZUKI Kenya
商学専攻
博士後期課程 2年

仲間とともに研究を深く追究できる環境

本学政治経済学部から商学研究科博士前期課程を経て、博士後期課程に在籍しています。専門は計量経済学です。学部生時代の労働問題の制度的側面の研究に、前期課程では計量経済分析を導入し、現在は広く社会福祉を題材とした分析を行っています。

研究科の特徴として、少人数クラスであるため、先生方や他の院生との距離が近いことが挙げられます。自分ひとりの名前で論文を執筆することがほとんどですが、完成に至るまでには周囲の助言に多く支えられているという実感があります。

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事している教員は？ A 畑農 鋭矢 教授

先生の専門は財政学・公共経済学ですが、計量経済学やミクロ経済学についてもご指導いただいています。ゼミ生は統計ソフトを使用して計量経済分析を基礎としたさまざまな研究をしています。毎月、前期課程と後期課程のゼミ生が集まって研究の成果を発表し、質問や意見交換ができる機会があります。ゼミ生が主体的に研究を進められる環境です。

教員情報 P.38

修了生からのメッセージ



此上 愛斗

KONOUÉ Aito
商学専攻
博士前期課程
2025年3月修了

答えのない問いを追求し、世界を捉える力を育む環境

本学商学部でフェアトレードに関する活動に取り組む中で、専門的に世界の経済構造を学びたいという思いが強まり、商学研究科へ進学しました。

本研究科は教員が学生を対等な研究者として尊重し、答えのない問いを考える刺激的な環境です。研究の過程で迷うこともありましたが、先生や先輩方の温かな支えが常にそばにありました。研究活動を通じ、分析力や論理的思考力を培い、自ら問いを立て答えを導く力を習得できました。この学びは現在の仕事に活かされています。

博士前期課程
Master's Program

Q 師事していた教員は？ A 小林 尚朗 教授

小林研究室は、世界経済論を通じて、身近な社会問題を世界のつながりの中で考える場です。「他人事を自分事として捉え、自分に何ができるのかを考える」。そんな姿勢が大切にされています。国籍、年齢、専攻の異なる学生が集い、互いに学び合い、刺激し合える環境です。先生は学生の価値観を尊重し、優しく、ときには厳しく指導してくれます。

教員情報 P.43



姜 瑩

JIANG Ying
商学専攻
博士後期課程
2025年3月修了

研究を深化できる充実した学びの環境

商学研究科の博士前期課程を修了し、自らの研究をさらに深化させたいと考え、博士後期課程に進学しました。本学は論文添削制度や学会発表への助成等、研究支援制度が充実しており、恵まれた環境で研究に専念できます。

本研究科では国内外の講演会が頻繁に開催されているため、自身の専門分野に限らず、最先端の研究に触れることで視野を広げることができます。指導教員をはじめ、先生方の丁寧なご指導により、知識だけではなく、研究者としての姿勢も培われました。

博士後期課程
Doctoral Program

Q 師事していた教員は？ A 福田 康典 教授

個性が尊重される研究室で、各自が興味のある分野において研究を進めています。市場調査やデータ分析を中心とした研究に取り組んでいます。先生はどのような質問にも快く対応してくださり、研究上の悩みに対して的確な助言をくださるため、学習意欲が高まるとともに、着実に研究力を養うことができる研究室だと感じております。

教員情報 P.39

教員一覧

1 経済系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 経済系列 教員一覧 >>>



水野 勝之

MIZUNO Katsushi

博士(商学)
教授

研究
分野 計量経済学

【最終学歴】早稲田大学大学院
【担当授業科目】計量経済学特論・演習／計量経済学特殊研究・演習
【研究テーマ】経済変動モデルの実証的研究



畑農 鋭矢

HATANO Toshiya

博士(経済学)
教授

研究
分野 財政学・公共経済学／応用計量経済学

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】財政学特論・演習／財政学特殊研究・演習
【研究テーマ】公的部門の経済活動と経済効果に関する実証研究



小林 弦矢

KOBAYASHI Genya

博士(経営学)
教授

研究
分野 ベイズ統計学

【最終学歴】神戸大学大学院経営学研究科
【担当授業科目】統計学特論・統計学特論演習
【研究テーマ】ベイズ統計学とその応用



山田 知明

YAMADA Tomoaki

博士(経済学)
教授

研究
分野 Inequality in Macroeconomics

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】経済政策論特論・演習／経済政策論特殊研究・演習
【研究テーマ】Heterogeneity in Macroeconomics



海老名 剛

EBINA Takeshi

博士(工学)
教授

研究
分野 産業組織論

【最終学歴】東京工業大学大学院
【担当授業科目】産業組織論特論／演習
【研究テーマ】企業の製品差別化、合併、インベーション戦略と競争政策



高浜 光信

TAKAHAMA Mitsunobu

教授

研究
分野 国際経済学／国際マクロ経済学・国際金融論

【最終学歴】神戸大学大学院
【担当授業科目】国際経済学特論・演習／国際経済学特殊研究・演習
【研究テーマ】通貨統合、国際通貨の選択、国際通貨制度改革に関わる理論・実証分析

2 商業系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 商業系列 教員一覧 >>>



竹村 正明

TAKEMURA Masaaki

Ph.D
教授

研究
分野 戦略論・研究方法論

【最終学歴】Poznań University of Economics and Business
【担当授業科目】商業理論特論・演習／商業理論特殊研究・演習
【研究テーマ】お金儲けをするのは、なぜ難しいのかについての理論的研究



菊池 一夫

KIKUCHI Kazuo

博士(商学)
教授

研究
分野 マーケティング(小売マーケティング、
サービスマーケティング)

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】商業経営論特論・演習／商業経営論特殊研究・演習
【研究テーマ】ポップアップ・ストア／オムニチャネル小売業／プラットフォーム／S-Dロジック



高橋 昭夫

TAKAHASHI Akiyo

博士(商学)
教授

研究
分野 品質論・サービス論・ブランド論

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】商品学特論・演習／商業学外国文献研究／商品学特殊研究・演習
【研究テーマ】インターナル・マーケティング



加藤 拓巳

KATO Takumi

博士(経営学)
准教授

研究
分野 マーケティング

【最終学歴】筑波大学大学院 ビジネス科学研究科
【担当授業科目】マーケティング管理論特論
【研究テーマ】商品・サービスの価値づくりとブランドマネジメント



若林 幸男

WAKABAYASHI Yukio

商学博士
教授

研究
分野 生産から消費に至る様々な商品流通の史的分析

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】日本流通史特論・演習／日本流通史特殊研究・演習
【研究テーマ】商品(一般消費財)の流通のみならず、産業財(資金や労働力)の流通史、また、情報の流通史について主に研究している



原 頼利

HARA Yoritoshi

Dr. rer. pol
教授

研究
分野 流通論、マーケティング論

【最終学歴】ベルリン自由大学大学院
【担当授業科目】流通システム論特論・演習
【研究テーマ】流通における組織間関係に関する研究



福田 康典

FUKUTA Yasunori

教授

研究分野 マーケティング論、市場調査論

【最終学歴】 明治大学大学院
【担当授業科目】 市場調査論特論・演習 / 市場調査論特殊研究・演習
【研究テーマ】 市場における情報の生成と伝播



山崎 喜代宏

YAMAZAKI Kiyohiro

博士(経営学)
准教授

研究分野 競争戦略

【最終学歴】 神戸大学大学院
【担当授業科目】 競争戦略論特論・演習
【研究テーマ】 製造企業の持続的競争優位構築の論理の探究



佐藤 平国

SATO Toshikuni

博士(経営学)
准教授

研究分野 消費者行動、マーケティング・リサーチ

【最終学歴】 東北大学大学院
【担当授業科目】 消費者行動論特論
【研究テーマ】 消費者行動研究のためのデータ分析

3 経営系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。
※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 経営系列 教員一覧 >>>



富野 貴弘

TOMINO Takahiro

博士(経済学)
教授

研究分野 経営学、生産管理論

【最終学歴】 同志社大学大学院
【担当授業科目】 生産管理論特論・演習 / 生産管理論特殊研究・演習
【研究テーマ】 ものづくりと時間サイクルに関する研究、高付加価値型ものづくりに関する研究



村田 潔

MURATA Kiyoshi

教授

研究分野 組織情報倫理

【最終学歴】 筑波大学大学院
【担当授業科目】 経営情報システム論特論・演習 / 経営情報システム論特殊研究・演習
【研究テーマ】 組織情報倫理学



山下 洋史

YAMASHITA Hiroshi

博士(工学)
博士(商学)
教授

研究分野 経営品質科学に関する学際的研究
組織と情報の活性化に関する研究

【最終学歴】 早稲田大学大学院
【担当授業科目】 情報管理論特論・演習 / 技術経営特講 / 情報管理論特殊研究・演習
【研究テーマ】 経営品質科学に関する研究



出見世 信之

DEMISE Nobuyuki

博士(商学)
教授

研究分野 企業倫理・CSR・企業統治

【最終学歴】 明治大学大学院
【担当授業科目】 経営哲学特論・演習 / 経営哲学特殊研究・演習
【研究テーマ】 企業倫理・CSRおよび企業統治に関する国際比較研究



水野 誠

MIZUNO Makoto

博士(経済学)
教授

研究分野 マーケティング・サイエンス、
エージェントベース・モデリング

【最終学歴】 東京大学大学院
【担当授業科目】 クリエイティブ・ビジネス論特論・演習 / クリエイティブ・ビジネス論特殊研究・演習
【研究テーマ】 消費者行動のデータ解析およびシミュレーション



西 剛広

NISHI Takahiro

博士(商学)
准教授

研究分野 コーポレート・ガバナンス、経営戦略

【最終学歴】 明治大学大学院
【担当授業科目】 経営戦略特論
【研究テーマ】 コーポレート・ガバナンスが企業のイノベーションに与える影響

4 会計系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 会計系列 教員一覧 >>>



姚 俊

JUN Yao

博士(経営学)
教授

研究分野 財務会計とマネジメントのハイブリッド分野

【最終学歴】神戸大学大学院博士課程修了
【担当授業科目】財務会計論特論・演習
【研究テーマ】無形資産のマネジメント、測定と報告；社会的サステナビリティと企業会計



千葉 修身

CHIBA Osami

博士(商学)
教授

研究分野 現代ドイツ会計制度の在り方

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】原価計算論特論・演習/ドイツ語経済文献研究/原価計算論特殊研究・演習
【研究テーマ】ドイツ「会計ガバナンス」の動向とEnforcement機能の分析



前田 陽

MAEDA Akira

博士(商学)
教授

研究分野 管理会計

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】意思決定会計論特論・演習/意思決定会計論特殊研究・演習
【研究テーマ】資本予算及び中期経営計画の策定に係る研究/日本企業における原価管理の研究



加藤 達彦

KATO Tatsuhiko

博士(商学)
教授

研究分野 会計監査の有効性と公会計の有用性に関する研究

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】監査論特論・演習/フランス語経済文献研究/監査論特殊研究・演習
【研究テーマ】ゲーム理論・実験を用いた監査制度の設計



王志

WANG Zhi

博士(商学)
教授

研究分野 管理会計

【最終学歴】一橋大学大学院
【担当授業科目】経営分析論特論・演習/経営分析論特殊研究・演習
【研究テーマ】原価低減、収益向上(販売価格)、納期管理および中国企業の管理会計実務に関する研究



山本 昌弘

YAMAMOTO Masahiro

博士(商学)
教授

研究分野 実証会計学

【最終学歴】京都大学大学院
【担当授業科目】国際会計論特論・演習/国際会計論特殊研究・演習
【研究テーマ】M&Aを中心とした会計政策の実証研究



名越 洋子

NAKOSHI Yoko

博士(商学)
教授

研究分野 会計基準(日本、米国、IFRS)と会社法制度

【最終学歴】東京大学大学院
【担当授業科目】会計情報論特論・演習/会計情報論特殊研究・演習
【研究テーマ】ファイナンスにおける負債・資本会計、株式報酬の会計、連結・企業結合の会計



松原 有里

MATSUBARA Yui

Dr. jur.
教授

研究分野 租税法(含む国際租税法)研究

【最終学歴】ミュンヘン大学大学院
【担当授業科目】租税法特論・演習/租税法特殊研究・演習
【研究テーマ】EU(ドイツ)租税法の研究を中心とした日本との比較法の見地から企業結合税制、租税訴訟制度の研究および租税手続法研究



奈良 沙織

NARA Saori

博士(経営学)
教授

研究分野 企業価値評価

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】企業評価論特論・演習
【研究テーマ】企業のディスクロージャーとアナリスト

5 金融・証券系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。
 ※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 金融・証券系列 教員一覧 >>>



小原 英隆 教授

OHARA Hidetaka

研究分野 [NOT ファイナンス]
貨幣社会の哲学・抽象理論

【最終学歴】 東京大学大学院
 【担当授業科目】 金融理論特論・演習
 【研究テーマ】 [NOT ファイナンス] 貨幣社会の極端的状況の抽象的分析

土屋 陽一 Ph.D
教授

TSUCHIYA Yoichi

研究分野 金融論、経済予測

【最終学歴】 ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院
 【担当授業科目】 金融理論特論・演習 / 金融理論特殊研究・演習
 【研究テーマ】 経済学における情報と期待形成

伊藤 隆康 博士(経済学)
博士(経営学)
教授

ITO Takayasu

研究分野 中央銀行と金融市場・
金融システムについての実証分析

【最終学歴】 筑波大学大学院
 【担当授業科目】 金融機関論特論・演習 / 金融機関論特殊研究・演習
 【研究テーマ】 中央銀行と金融市場、中央銀行の市場との対話、イスラム金融

野田 顕彦 博士(商学)
教授

NODA Akihiko

研究分野 計量ファイナンス、時系列解析、国際金融論

【最終学歴】 慶應義塾大学大学院
 【担当授業科目】 証券市場論特論・演習 / 証券市場論特殊研究・演習
 【研究テーマ】 金融市場における価格形成機能の時変構造に関する研究

三和 裕美子 博士(商学)
教授

MIWA Yumiko

研究分野 機関投資家とコーポレートガバナンス

【最終学歴】 大阪市立大学大学院
 【担当授業科目】 機関投資家論特論・演習 / 機関投資家論特殊研究・演習
 【研究テーマ】 機関投資家とコーポレート・ガバナンス、機関投資家のESG(環境、社会、ガバナンス)投資、株主アクティビストの企業への影響に関する研究

太田 塁 Ph.D.(Economics)
教授

OTA Rui

研究分野 経済政策 / 金融・ファイナンス

【最終学歴】 ジョンズホプキンス大学大学院
 【担当授業科目】 国際金融論特論・演習
 【研究テーマ】 ニュースの文脈を通じて計測する政策不確実性指数の開発

萩原 統宏

博士(経済学)
教授

HAGIWARA Motohiro

研究分野 企業財務論、証券市場論、資産価格理論

【最終学歴】 大阪大学大学院
 【担当授業科目】 金融取引論特論・演習 / 金融取引論特殊研究
 【研究テーマ】 企業財務、資本市場、および投資行動に関する分析

6 保険系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 保険系列 教員一覧 >>>



中林 真理子

NAKABAYASHI Mariko

博士(商学)
教授

研究
分野 保険・リスクマネジメント

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】保険理論特論・演習／保険論外国文献研究／保険理論特殊研究・演習
【研究テーマ】保険・リスクマネジメント・企業倫理に関する包括的研究



藤井 陽一郎

FUJII Yoichiro

博士(社会経済)
教授

研究
分野 意思決定分析の基礎と保険論への応用

【最終学歴】筑波大学大学院
【担当授業科目】損害保険論特論・演習
【研究テーマ】非期待効用理論を用いた保険市場の分析、あいまい性下における保険需要の考察



浅井 義裕

ASAI Yoshihito

博士(経済学)
教授

研究
分野 中小企業金融における保険の役割

【最終学歴】名古屋大学大学院
【担当授業科目】保険リスクマネジメント論特論・演習／保険リスクマネジメント論特殊研究・演習
【研究テーマ】中小企業金融と保険・リスクマネジメント／金融教育／事業承継

7 交通系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 交通系列 教員一覧 >>>



藤井 秀登

FUJII Hideto

博士(商学)
教授

研究
分野 交通理論の哲学的基礎と交通政策の規範

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】交通理論特論・演習／交通論外国文献研究／交通理論特殊研究・演習
【研究テーマ】持続可能な交通政策に関する研究



恩田 睦

ONODA Mutsumi

博士(経済学)
准教授

研究
分野 近現代交通史、鉄道史、交通と地域振興に関する研究

【最終学歴】立教大学大学院
【担当授業科目】都市・地域交通論特論
【研究テーマ】交通事業の社会経済史的研究



町田 一兵

MACHIDA Ippei

博士(商学)
教授

研究
分野 アジア・環太平洋国際交通及び交通・物流政策

【最終学歴】明治大学大学院
【担当授業科目】国際交通論特論・演習
【研究テーマ】アジア・欧米諸国の交通インフラ整備、関連政策、各輸送モードの異なる展開、交通に関連する環境の課題

8 貿易系列

※ 2026年4月1日時点のものです。今後変更や見直しを行う場合があります。

※ 各教員の研究指導の学生募集の有無については、入学試験学生募集要項公開時の研究指導教員一覧表で確認してください。

■ 貿易系列 教員一覧 >>>



所 康弘

TOKORO Yasuhiro

博士(商学)
教授

研究分野 国際貿易、国際政治経済、グローバル・サウス、新興国の貿易・投資

【最終学歴】 明治大学大学院
【担当授業科目】 貿易理論特論・演習 / 貿易理論特殊研究・演習
【研究テーマ】 ポスト・グローバリゼーション時代における国際貿易秩序の再編とグローバルサウスの位置づけ



小林 尚朗

KOBAYASHI Naoki

教授

研究分野 世界経済論、貿易政策論、アジア経済論

【最終学歴】 明治大学大学院
【担当授業科目】 世界経済論特論・演習 / 同 特殊研究・演習
【研究テーマ】 グローバリゼーション下の開発と貿易、東アジア地域協力



塩澤 恵理

SHIOZAWA Eri

博士(学術)
教授

研究分野 国際ビジネス・コミュニケーション論

【最終学歴】 国際基督教大学大学院
【担当授業科目】 国際ビジネス・コミュニケーション論特論・演習 / 貿易論外国文献研究 / 国際ビジネス・コミュニケーション論特殊研究・演習
【研究テーマ】 国際ビジネス・コミュニケーションの研究